



平成30年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 京都府 】

学校名【 木津川市立相楽小学校 】

1 実践テーマ	【 I III IV 】
2 実施対象者	木津川市立相楽小学校 全校児童
3 展開の形式	<p>(1) 学校における活動</p> <p>① 教科名 ( 体育 )</p> <p>② 行事名 ( アスリートによる実技指導・人権講演会 )</p> <p>③ その他 ( 特別活動・外国語活動・総合的な学習の時間 )</p> <p>(2) 地域における活動</p> <p>① イベント名 ( )</p> <p>② その他 ( )</p>
4 目標 (ねらい)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ オリンピック・パラリンピックについて知る</li> <li>・ トップアスリートの講演や実技指導</li> <li>・ 国際理解・国際平和を学ぶ</li> </ul>
5 取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ オリンピック・パラリンピックマスコット投票（昨年度）</li> <li>・ マスコット紹介を通して、東京2020オリンピック・パラリンピックの周知</li> </ul> <p>10月11日（木）全校朝礼・校長先生のお話 オリンピック・パラリンピック教育推進校であることを知らせるとともに、マスコット2体を紹介。 オリンピック：ミライトワとパラリンピック：ソメイティは校長室にいます。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <u>京都府出身のアスリートによる実技指導（陸上競技）</u></li> </ul> <p>10月30日（火） トップアスリートだった… 比護信子さん来校！ 5・6年生が長距離走について学びました。</p>



高校生の時に描いた将来の夢を叶えた  
ゴールでの写真を見せていただきました。  
夢をもつこと。  
夢が見える形として毎日イメージすること。  
夢を実現するために努力を重ねること。  
あきらめないこと。  
一つ一つの言葉に重みがありました。

**本物の金メダル！**  
実際にさわらせてもらっています。  
金メダルは…  
世界一です。  
簡単に手にできる物では  
ないですよ～。



変形ダッシュ  
比護先生も一緒にスタート  
走るフォームの美しいこと！！



反復走をグループ別で実施しました。  
25秒・30秒・35秒以内とグループ別に実施。  
初めは楽にクリア。  
段々苦しくなってくる…その時が伸びるとき！  
あっという間の45分間でした。  
練習の基礎やエッセンスを学び、これから自分の  
力を伸ばしてくれることでしょう。楽しみです。

11月10日（土）

相楽は準優勝・持久走大会でも2位・3位という結果を手にすることができました。

12月1日（土）

やましろ未来っ子小学生EKIDEN大会においては、3位という結果を手にすることができました。

・ 外国語活動で得た会話力で海外からの旅行客へのインタビュー実施

＝校内の掲示板＝

国際理解教育：奈良公園へ イングリッシュアドベンチャー（4年生）

11月27日（火）講演会の告知も一緒に。



・ 京都府出身のパラリンピアンによる講演会

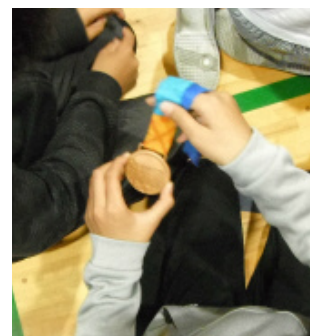
11月27日(火)

\* アテネパラリンピック銅メダリスト 寒川 進さん来校  
講演会 5・6年、保護者、地域対象

競技用車いすに乗りかえて



本物の銅メダル



＝講演会のアンケートより＝

- ・ 子ども達の質問でより内容の理解が深まり、実演で競技用の車椅子の扱い方等よく分かった。
- ・ 大変貴重なお話を伺えて、子ども達にも保護者にも良かったです。ありがとうございます

京都府のホームページにもあげていただきました。

6 主な成果

- ・ 実技指導で得た学びにより、相楽駅伝大会2位・やましろ未来っ子EKIDEN3位となるだけでなく、長距離走が苦手と思っていた児童にも、自分のペースで走りきる楽しさを教えていただき、校内のマラソン大会等で成果をあげることができた。
- ・ 「障がい者となってからの第二の人生」という演題で講演いただき、地域・保護者・児童がパラリンピアンから学ぶことができた。日々目標に向かって努力することや、創意工夫していく事の大切さ

	<p>を実感させていただく講演内容であった。</p> <p>児童も積極的に質問し、内容を深めたり、初めて見る競技用車いすについて知ったりすることができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 地域や保護者にも公開したため、大変好評であった。 (学校の取組について理解を得ることにつながった。)</li> </ul>
7実践において工夫した点 (事業の特色)	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 奈良公園への校外学習の機会を設け、外国語活動の一環で取り組んだ。</li> </ul>
8主な課題等	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 広報活動のバックアップ (学校→市教委→プレス発表) だけでは取材がない。</li> </ul>
9来年度以降 の実施予定	<ul style="list-style-type: none"> <li>• トップアスリートの講演や実技指導。</li> <li>• オリンピック競技やパラリンピック競技を児童が行う。</li> <li>• 国際理解・国際平和を学ぶ。</li> </ul>